

【検索機能の使いかたの例】

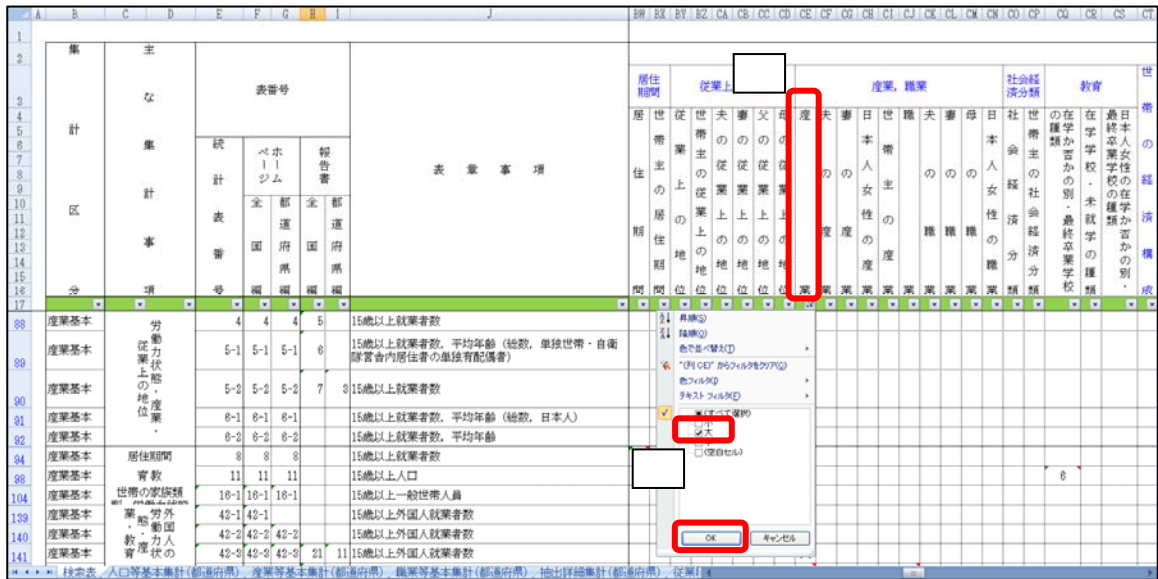
製造業就業者（産業大分類）のうち、主に仕事をしている人（就業の状態が主に仕事）と、休業者（同休業者）の男女別の数を、全国及び北海道について知りたい。

手順1 利用したい分類事項の下にあるボタンをクリック

産業大分類別の統計表を探すことから、

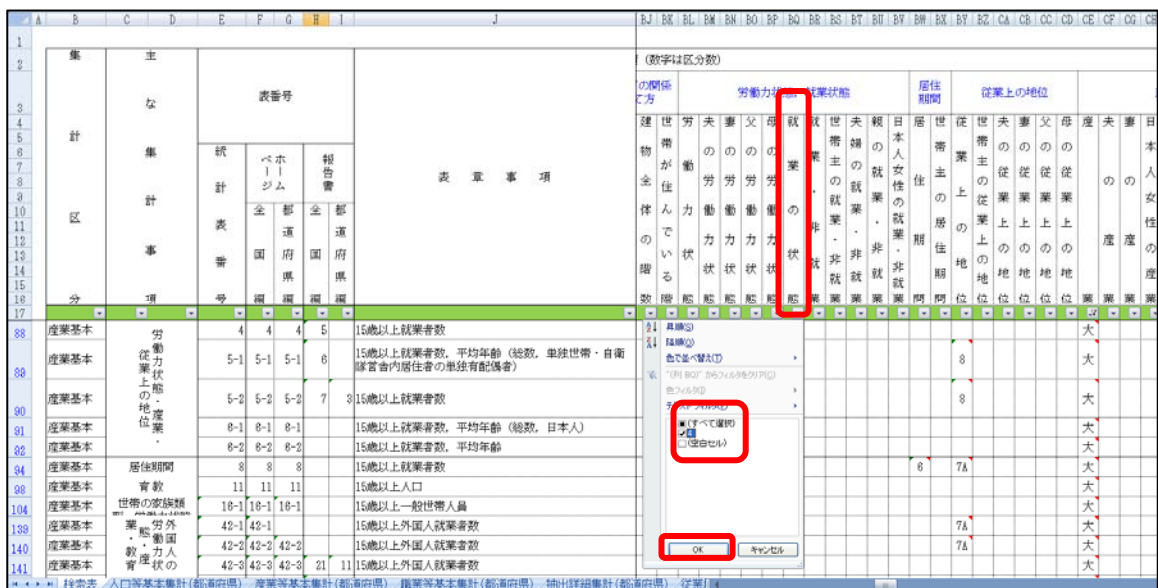
分類事項「産業」のタブをクリックし、

「大」のみにチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。



複数の条件で、更に絞り込むことも可能です。

ここでは、就業の状態別にも分類した統計表を探すことから、上記の状態で、「就業の状態」のタブをクリックし、空白セルを除いた「4」のみにチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。



手順2 利用したい統計表の「表番号」ボタンをクリック

手順1の①, ②, ③により統計表が「第4表」に絞り込まれたので、「ホームページ」の下にある「全国編」又は「都道府県編」の表番号「4」をクリックします。

- 全国編 統計表が表示されます。
- 都道府県編 手順3へ進んでください（この際、表番号を手順4で使用するため、番号を覚えておいてください）。

表番号	表名
1	労働力状態・産業・従業上の地位
2	労働力状態・産業・従業上の地位
3	労働力状態・産業・従業上の地位
4	産業(大分類)、就業の状態(4区分)、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上就業者数-都道府県、人口50万以上の市

手順3 利用したい都道府県をクリック

都道府県一覧表が表示されるので、「北海道」をクリックします。

都道府県	表番号
北海道・東北	01 北海道
関東	02 青森県, 03 岩手県, 04 宮城県, 05 秋田県, 06 山形県, 07 福島県
中部	08 茨城県, 09 栃木県, 10 群馬県, 11 埼玉県, 12 千葉県, 13 東京都, 14 神奈川県
近畿	15 新潟県, 16 富山県, 17 石川県, 18 福井県, 19 山梨県, 20 長野県, 21 岐阜県, 22 静岡県, 23 愛知県, 24 三重県
中国・四国	25 滋賀県, 26 京都府, 27 大阪府, 28 兵庫県, 29 奈良県, 30 和歌山県
九州・沖縄	31 鳥取県, 32 島根県, 33 岡山県, 34 広島県, 35 山口県, 36 徳島県, 37 香川県, 38 愛媛県, 39 高知県
	40 福岡県, 41 佐賀県, 42 長崎県, 43 熊本県, 44 大分県, 45 宮崎県, 46 鹿児島県, 47 沖縄県

手順4 利用したい統計表をクリック

e-Stat の画面に移行するので、手順2でクリックした、利用したい統計表（第4表）の「CSV」ボタンをクリックします。

表番号	統計表	操作
1-1	労働力状態(8区分), 年齢(各歳), 男女別15歳以上人口-都道府県, 人口50万以上の市	CSV
1-2	労働力状態(8区分), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上人口-都道府県, 市町村	CSV
2-1	労働力状態(8区分), 配偶関係(4区分), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上人口(総数及び日本人)(雇用人-特掲)-都道府県, 人口50万以上の市	CSV
2-2	労働力状態(8区分), 配偶関係(4区分), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上人口(雇用人-特掲)-都道府県, 市区町村	CSV
3	従業上の地位(8区分), 就業の状態(4区分), 配偶関係(3区分), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上就業者数-都道府県, 人口50万以上の市	CSV
4	産業(大分類), 就業の状態(4区分), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上就業者数-都道府県, 人口50万以上の市	CSV